

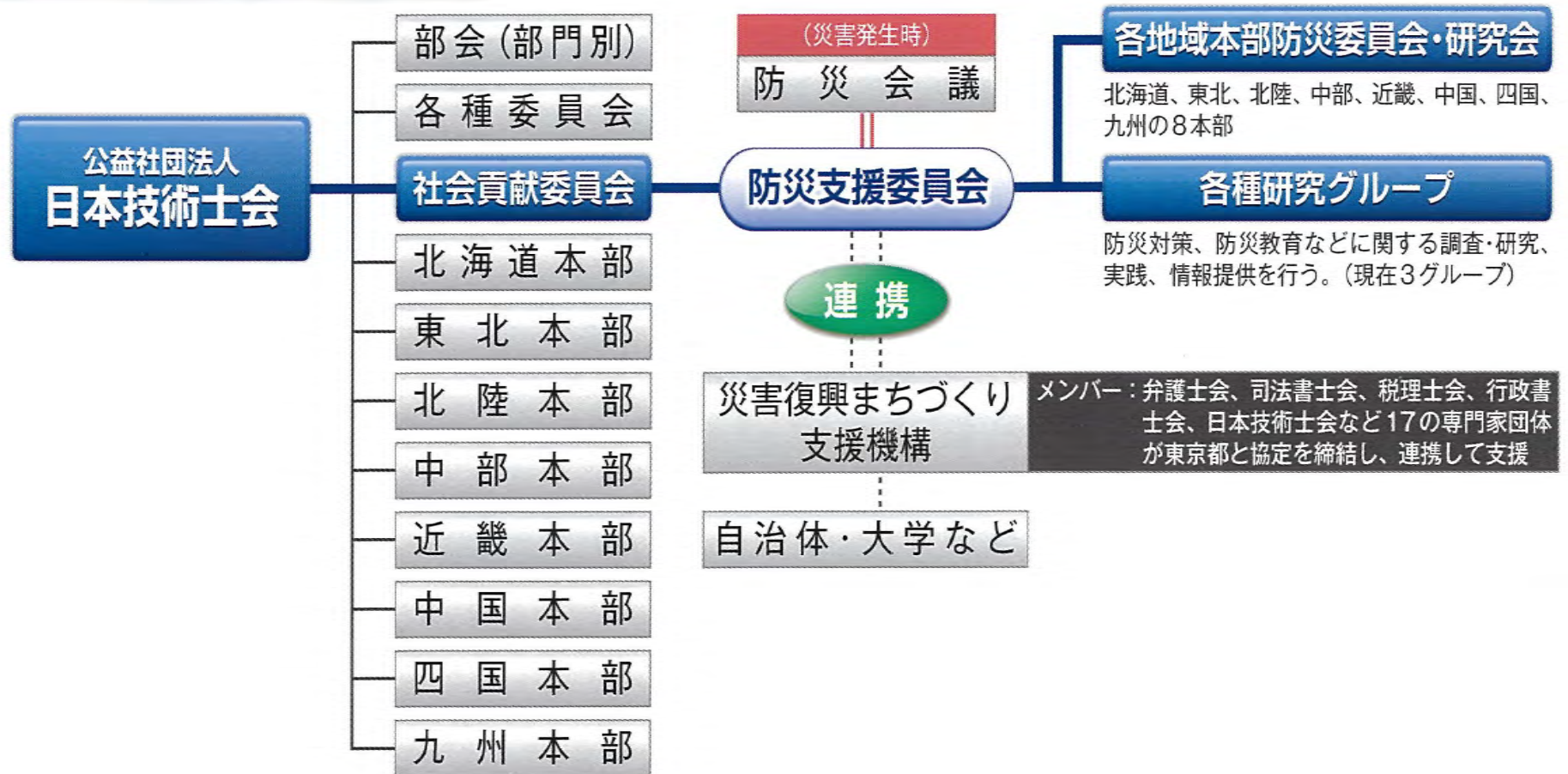
中部本部 2013～2016年度防災活動

平成29年5月26日
公益社団法人日本技術士会
中部本部社会貢献(防災)委員会

吉田建彦

日本技術士会の防災組織

防災支援委員会組織図



日本技術士会の防災活動全般

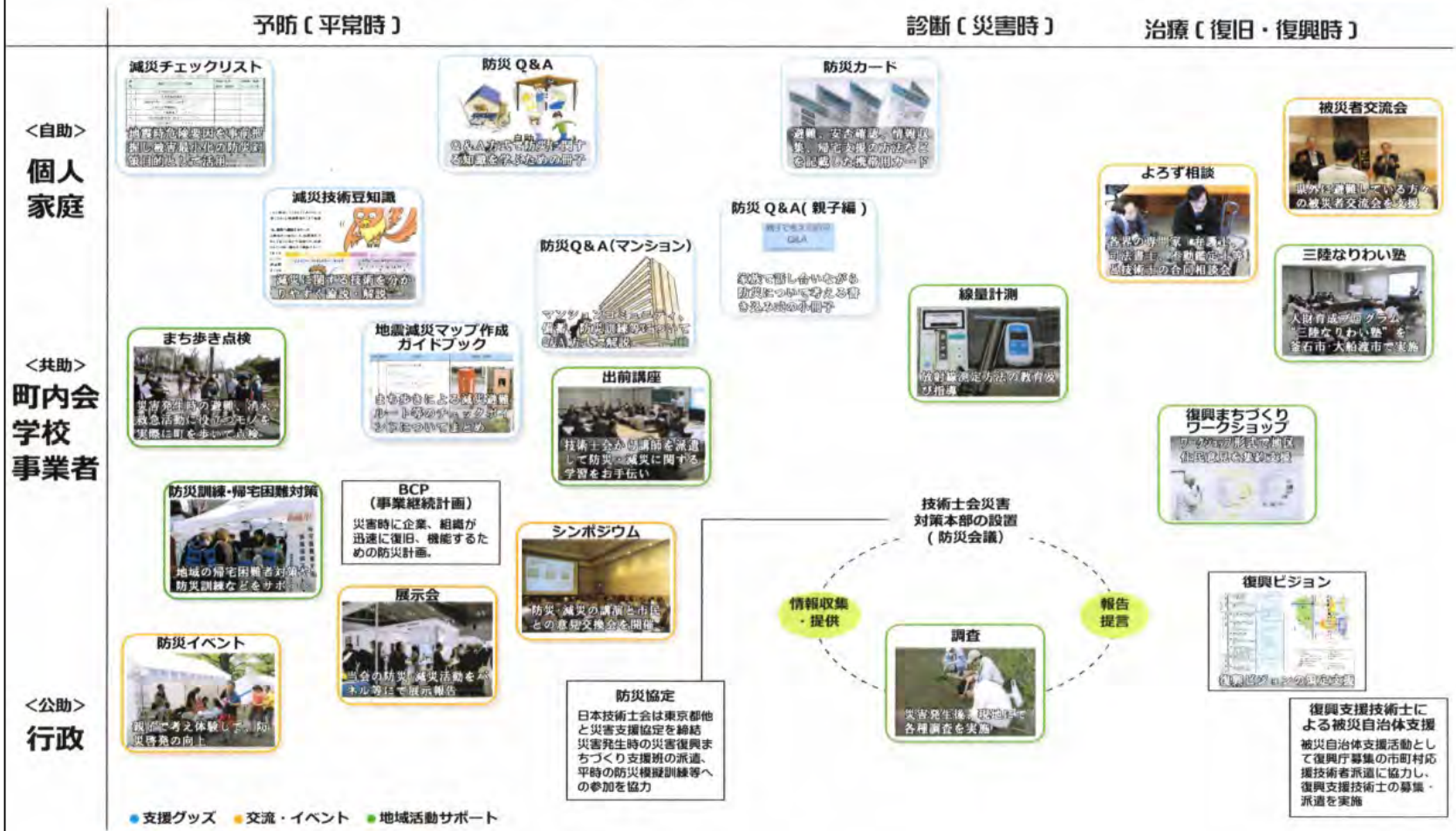
公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan



私たちは 21 の専門技術を活かして防災・減災支援活動を行っています

日本技術士会防災支援委員会は 21 部門の実務専門技術を活かして、防災・減災に関する支援活動を行うための組織です。平常時、災害時、復旧・復興時に現在下図のような様々な活動を行っています。防災・減災技術のことなら何でも私たちにご相談ください。

緊急時の支援の他、防災・減災対策に関する相談会・講演会・セミナーの開催、防災に関する調査、研究・指導・助言、防災教育・訓練、防災計画・災害復興計画の作成支援、調査・情報提供などを他の専門職団体や自治体、学校などとも連携して行っています。



日本技術士会の防災活動カテゴリー

	予防(平常時)	診断(災害時)	治療(復旧・復興時)
<自助>個人・家庭	各種パンフレット等作成①	線量計測	被災者交流会
<共助>町内会、学校、事業者	町歩き点検、防災イベント、 防災シンポジウム④	災害対策/防災会議設置② 自治体との防災協定③	復興まちづくりワークショップ 被災自治体支援⑤
<公助>行政			

- 上表のうち、いくつかの活動カテゴリーの項目を示します。
-
- カテゴリ1. (上表①) 親子で考える防災Q&A、減災技術豆知識、地震減災マップ作成ガイド、防災カードなど
- カテゴリ2. (上表②) 2014年8月広島土砂災害に対応する被災者支援
 - 広島県土業連絡会と協業
- カテゴリ3. (上表③) 2011年静岡市と静岡県技術士協会との復興まちづくり協定
および同協定に関わる活動について2015年国連防災世界会議での発表
- カテゴリ4. (上表④) 2014年度中部本部での防災シンポジウム(防災教室、防災セミナー等)等
- カテゴリ5. (上表⑤) 2014年度中部本部防災支援員登録

統括本部防災活動 カテゴリー 1 <自助/予防> 防災パンフレット その1

防災パンフレット作成事例

1. 「親子で考える防災 Q&A」 (A3、22ページの小冊子)
～いざという時のために、話しあおう～
2. 「減災技術豆知識」 (A3、23ページの小冊子)
-生活と事業の継続に役立つサバイバル情報-
3. 「地震減災マップ作成ガイド」 (A4、14ページの小冊子)
-まち歩きによる地震災害に備えた、
減災避難ルート等のチェックポイント-

統括本部防災活動 カテゴリー1 <自助/予防> 防災パンフレット その2

防災カード (社)日本技術士会

▲グラツキきたら **身の安全** >>>机・テーブルの
下等に入る

出口確保 >>>ドアや窓を
あける

TV・ラジオ・
インターネット・
携帯電話・
防災無線等、
複数手段で>>> **火の始末** >>>ガスの元栓
電熱器具
出火したら初期消火
無理に火に近づいて
消すのは危険

安全を確かめ
状況に応じて>>> **正確情報**

家族、近隣、
勤務先は？>>> **避難** → 2へ

みんなで
協力して!! >>> **安否確認** → 3、5、6へ

勤務先、
外出先では>>> **救出・救護**

帰宅判断 → 7~8へ

避難方法

■どこに逃げるか

①いったん様子を見る ⇒ 一時避難場所
地震に伴う火災が発生した場合は、地域の一時避難
場所(公園・空地・学校等)に避難して様子を見る。

②多くの火災が発生 ⇒ 広域避難場所
火災が燃え広がった場合は、火煙やふく射熱から身
を守るため、地域が指定した広域避難場所に避難する。

③家が倒壊、焼失したとき ⇒ 避難所
戻る家が無くなった場合は、小中学校等に開設される
避難所に行き、行政や自主防災組織の指示に従う。

■どうやって逃げるか

①避難前に、電気・ガス・水道の元栓を閉め、戸締りを!

②状況に応じて避難
火災拡大や建物倒壊が無ければ、出火防止や初期
消火に努める。避難は運動靴等を履いて、広い道路で、
塀等の少ない道を歩く。持出し品は、最小限に。

安否確認方法

■かかり易い電話

1. 公衆電話(停電時にテレカは使えない、10円硬貨を用意)
2. P H S
3. 一般の固定電話
4. 携帯電話

災害時は電話がかかりにくいのはあたりまえ。
電話、安否確認システム、Eメール、ホームページ掲示
板等の複数手段できらめずに連絡を!

■情報収集

1. 携帯電話+TV放送:ワンセグ放送
2. 携帯ラジオ:
AM
NHK第1(666kHz)/第2(828kHz)
朝日放送(1008kHz) 毎日放送(1179kHz)
大阪放送(1314kHz) ラジオ関西(558kHz)
FM
NHK大阪(88.1MHz)/神戸(86.5MHz)/奈良(87.4MHz)
エフエム大阪(85.1MHz) /FM802(80.2MHz)

身分証明

>>> 個人データ

§氏名[ふりがな]
§血液型[例] J A・B・O・AB §性別 男・女
§生年月日[西暦] 年 月 日
§自宅[連絡先]
§勤務[連絡先]
§主治医病院名

>>> 緊急連絡先[保護者・親戚・知人等]

§氏名 TEL
§氏名 TEL
§氏名 TEL

>>> 避難先[場所・連絡方法等]

統括本部防災活動 カテゴリー2<共助・公助/診断>
広島土砂災害被災者支援 その1

1. 2014年8月20日に発生した広島土砂災害は死者72人、行方不明2人という甚大な被害を与えた。
2. 日本技術士会防災支援委員会・同中国本部では「防災会議」を設置して、8月23日から被災者支援活動を行った。広島県災害復興支援士業連絡会(弁護士、行政書士、社会福祉士、介護福祉士、技術士)は「士業よろず巡回相談」を設けた。

統括本部防災活動 カテゴリー 2 <共助・公助/診断>
広島土砂災害被災者支援 その2

「土業よろず巡回相談」

場所……………3つの避難所、4つの集会所

支援内容……………被災者に対するよろず相談
復興まちづくりのための自治会・自主防災会との意見交換
警戒避難体制確立のための防災マップ作成

派遣人員……………延べ46人(技術士会)

期間……………2014年9月～2015年3月

統括本部防災活動 カテゴリー2<共助・公助/診断> 広島土砂災害被災者支援 その3

・よろず相談会 【風景】

【実施PRビラ】



写真-8 新建自治会集会所でのよろず相談会

主催 広島県災害復興支援士業連絡会

よろず相談会

場所 八敷会館

平成26年10月19日(日)

午後1時30分～午後3時30分

さまざまな困りごとに

士業連絡会の専門家(弁護士・技術士等)が応じます

予約不要
相談無料

お気軽に
ご相談ください



お問い合わせは… 士業連絡会事務局
050-3381-1397 法テラス広島(担当:川嶋,工藤)

広島県災害復興支援士業連絡会は以下の団体で構成されています

広島弁護士会	広島司法書士会	広島県社会福祉士会
広島県介護福祉士会	日本技術士会中国本部	広島県行政書士会
広島県建築士会	広島県社会保険労務士会	中国税理士会広島県西部支部連合会
広島県土地家屋調査士会	広島県不動産鑑定士会	広島県精神福祉保健福祉士協会
海事代理士会	日本司法支援センター広島地方事務所	

統括本部防災活動 カテゴリー 2 <共助・公助/診断> 広島土砂災害被災者支援 その4

相談事例

- ・災害復旧工事と所有地（技術士会対応）
- ・家屋に倒れかけた電柱撤去（技術士会対応）
- ・借家退去時の敷金・礼金の返済（弁護士会・司法書士会対応）
- ・引越し運搬のために道路復旧（技術士会対応）
- ・要介護者の手続き（社会福祉会対応）

なお被災者の質問は多岐にわたり、対応する士業専門家は相互に協力したり、自治体当局に質問をつないだりする。

統括本部防災活動 カテゴリー 2<共助・公助/診断> 熊本地震被災者支援

2016年4月14日発生した熊本地震に対し、統括本部防災支援委員会では「防災会議」設置を会長に申請し、4月18日了承された。

2016年11月30日、九州本部は

「平成28年(2016年)熊本地震

日本技術士会の現地調査及び復興に向けての支援活動(方針)報告書」を発行した。内容の主な項目は以下のとおり。

現地調査以外の活動状況と今後の方針

活動1. 斜面崩壊の危険性の地域住民への周知活動支援

活動2. 宅地の健全度評価と復旧・復興支援

活動3. 地方自治体の災害復旧・復興支援事業

活動4. 地域被災小学生への心のケア実施活動

中部本部の防災活動 カテゴリー1〈自助・/予防〉 防災パンフレットその1

16. 地域のページ (中部本部版)

【愛知県】 防災局

電話 : 052-954-6193

E-mail : saigaitaisaku@pref.aichi.lg.jp

URL : <http://www.pref.aichi.jp/bousai/>

【静岡県】 危機管理部

電話 : 054-221-2456

E-mail : boukei@pref.shizuoka.lg.jp

URL : http://www.pref.shizuoka.jp/a_content/1_03

【岐阜県】 総合防災ポータル

URL : <http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>

【三重県】 防災局：防災対策部

(防災対策総務課)

電話 : 059-224-2157

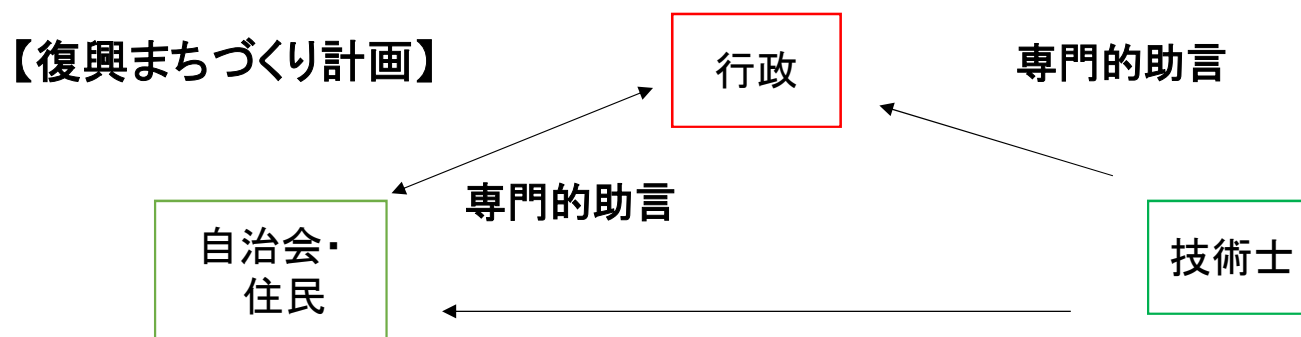
Fax : 059-224-2199

E-mail : bosaimie@pref.mie.jp

中部本部の防災活動 カテゴリー3<共助・公助/診断> 静岡市と静岡県支部の災害復興支援協定 その1

1. 平成22年6月、静岡市と当時の静岡県技術士会（静岡県支部の前身）は「災害時における市民への復興まちづくりの助言に関する協定書」を締結した。
2. 協定の目的は、静岡市内で災害が発生した場合、静岡市は技術士会の会員に復興まちづくりの助言を要請できるというものである。

3. 3者協業活動



**中部本部の防災活動 カテゴリー3<共助・公助/診断>
静岡市と静岡県支部の災害復興支援協定 その2**

4. 締結後、静岡市と技術士会側は復興まちづくりの研修会を年に3～4回開催し、発災時の活動に備えている。

5. 第3回国連防災世界会議での発表
2015年3月、仙台で開かれた国連防災世界会議のパブリックフォーラム「巨大化する自然災害に備える技術者の役割」で、静岡県支部会員が「静岡市との災害復興まちづくり支援協定～次の災害に備えた復興支援活動」と題して活動を発表した。

中部本部の防災活動 カテゴリー3＜共助・公助/診断＞

静岡市と静岡県支部の災害復興支援協定 その3

• 他自治体との折衝状況

日進市
2014年度市当局に接触
(安藤、前田、吉田委員)
その後反応なし

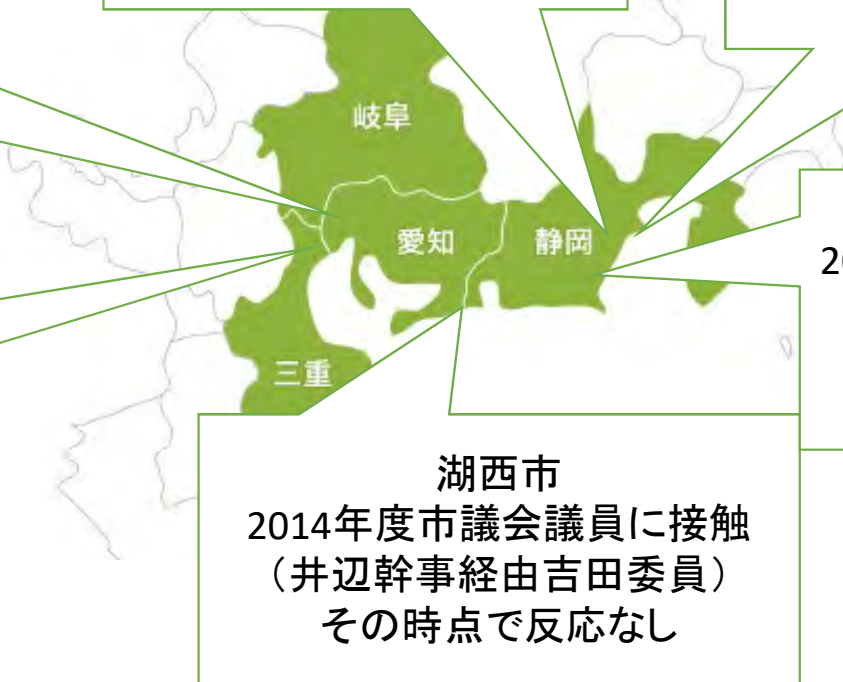
東海市
2014年度市当局に接触
(横山委員)
その時点で反応なし

静岡県
2014年度県からの提案により
土木建造物復旧支援
協定検討、保留
(山之上、吉田委員)

静岡市
2010年度市からの提案により
技術士会と街づくり
復興支援協定締結

牧之原市
2015年度市からの提案により
協定締結
(山之上、吉田委員)

湖西市
2014年度市議会議員に接触
(井辺幹事経由吉田委員)
その時点で反応なし



中部本部の防災活動 カテゴリー3＜共助・公助/診断＞ 牧之原市と静岡県支部の包括支援協定

- 協定名：公共土木施設のマネジメントに係る
技術助言に関する包括協定 2015年11月30日締結
- 目的：牧之原市の公共土木施設に対し、平常時および
発災時静岡県支部の助言チームが専門的立場から助言する
- 有効期間：2015年～2016年3月末日、以後一年ごとに更新
- 第一回助言：2016年4月
- 第一回研修会：2016年5月「建設行政を取り巻く最近の動向」
「ICTを活用した」土木技術}
- 第二回研修会：2016年11月「失敗学」



中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防>
防災教室 その1

「児童・親子の防災教室」を
2014年6月1日、浜松科学
館で実施し、20名の親子連
れが参加した。集客の困難さ
が浮き彫りとなった。

楽しく学べる児童・親子の防災教室

- 地震・津波による災害の実験・観察と防災の学習 -

平成26年6月1日(日曜日)

参加費無料

1回目 10時半～12時
2回目 1時～2時半
3回目 3時半～5時

事前申し込みでお
願いします!
空きがあれば当日
申し込みもOK

場所 : 浜松科学館 第二講座室

定員 : 1回の定員は24人です(親子歓迎)。

(対象は、小学生中～高学年
ですが低学年や中学生も歓迎)

内容 : 地震や津波はどうして起こるの?
災害から身を守るにはどうすれば良いの?
などを、動画や絵を使い、実験をしながら、
わかりやすく説明するよ!



申込み先 : 吉田 FAX:0538-36-1260
E-mail:takehikoyoshida@giga.ocn.ne.jp

参加者のお名前 : _____

参加者の人数 : 大人 _____人、子供 _____人

申し込む人の電話番号 : _____

希望する時間帯 : 1回目、2回目、3回目

主催 : 公益社団法人 日本技術士会中部本部理科支援委員会
公益社団法人 日本技術士会中部本部災害対策委員会
後援 : 静岡新聞社・静岡放送

中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災教室 その2

2015年8月9日、静岡県地震防災センターが主宰する「こども地震防災教室」で、技術士会の会員3名が2つのイベントの講師を務めた。

1. 防災クイズ

参加者48名



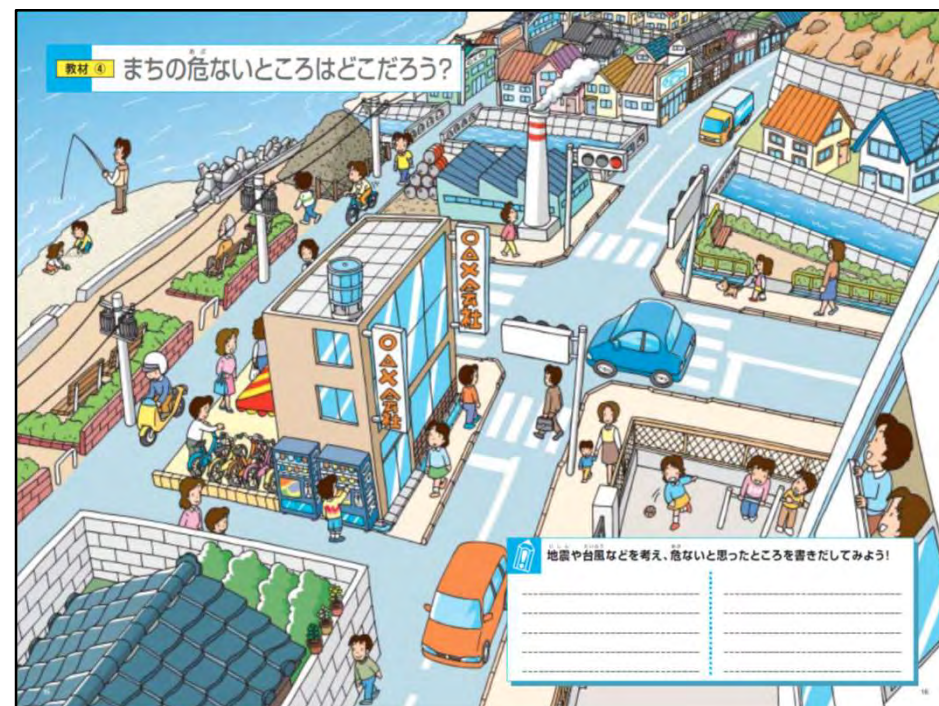
2. 講座 「液状化って何だろう」

参加者30名



中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災教室 その3

- 磐田市2015年8月20日
“夏休み「わくわく寺子屋」”における
児童(参加8名)向け防災クイズ
- ①静岡県地震防災センター作成
防災クイズ
- ②日本技術士会作成
防災クイズ2種
例：“地震が来たとき、
町の危険な個所を探そう”



中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災教室 その4

- ・ こども地震防災教室への参加(全般)
 1. 日時 平成28年8月7日10時～16時
 2. 場所 静岡地震防災センター
 3. 対象 小学生、中学生、保護者
 4. 内容 地震防災に関するイベント
防災すごろく、施設見学
 5. 集客目標 1120人(実際は約3割)
 6. 講師 約50人(島田工業高校,常葉大学、技術士会など)
 7. イベント数 大分類で28件、
小分類でその3倍



じしんぼうさいはかせ
めざせ! 地震防災博士!!
～こども地震防災教室～

かんが
地震防災について考えてみよう!!

のろう!地震ザブトン

<対 象>
● 小学生、中学生、その保護者
(こどもだけの参加もOK)

<内 容>
● 地震防災に関するイベント
● 防災すごろく・施設見学

★「ふじのくにジュニア防災士」：5年生以上の小学生・中学生のみなさんが、このイベントに参加した後、地域で行われる防災訓練に参加し、レポートを地震防災センターに提出すると、地震防災について学んだものとしてふじのくにジュニア防災士の認定証がもらえるよ!

●申し込み
裏面のイベント申込書に、①名前(ふりがな)、②学校名・学年、③電話番号、④参加イベント番号等、⑤参加する人数を記入し、FAXまたはメールで地震防災センターへ申し込みんでね!
参加するイベントは1つだけでも大丈夫です。

●参加できる人数
イベントごとに異なります。

●申し込み期間
7月12日(火)～8月5日(金)まで(先着順)。いっぱいになった場合は、ごめんない。

●その他
当日の昼(12:00～13:00)は、3階大会議室と中会議室を昼食会場として開放します。
当日、気象警報(大雨警報など)が発表された場合は、中止します。(当方から連絡はしません。)
静岡科学館「る・く・る」のしずおか科学技術月間スタンプラリーに参加しています。
※スタンプラリーは、一定数以上のスタンプカシールを集めると、「る・く・る」で景品と交換できます。

H28年8月7日(日)
午前10時～午後4時
参加：無料
●駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

静岡地震防災センター
本通十丁目
バス停

しずおかけん
静岡地震防災センター (静岡市葵区駒形通5-9-1)
TEL:054-251-7100 (担当:鈴木) FAX:054-251-7300

中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災教室 その4

- ・こども地震防災教室への技術士会の参加
技術士会イベント内容

実験：見てもみよう断層発生
エッキーを作ろう(液状化実験)
見てもみよう火山噴火

防災グッズ作り：

新聞紙でレインコート、上着、スリッパづくり
簡易ランプでお湯を沸かす
ペットボトルで貯水/新聞紙で食器づくり
役立つロープの結び方

- ・なお2017年度も参画する(2017年1月24日両者で決定)

【イベント7】; おもしろい教室まとめ



中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災セミナー その1

中部本部秋季例会では、防災関連の講演を主宰している

・2014年9月13日

講演1. 技術士による防災・減災・復興支援活動

統括本部防災支援委員会委員長 大元 守氏

講演2. 「中規模地震BCPとその復興事例および留意点」

中部本部経営工学部会長 石川君雄氏

・2015年9月12日

「静岡県の防災活動」 静岡県支部 關尚彦氏

・2016年9月10日

「巨大水災害克服に向けて」 名古屋大学名誉教授 辻本哲郎氏

・2017年9月9日予定

「大震災に備える専門士業の役割と課題～技術士による防災・減災・復興活動」

統括本部防災支援委員会専任委員 山口豊氏

中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災セミナー その2

<2014年9月中部本部例会での講演内容抜粋>

遠隔地避難者への相談会・交流会支援

【専門家によるよろず相談会】

・災害復興まちづくり支援機構*の18士業
の専門家連携で対応

東京ビックサイトの相談会

→待ちの姿勢だと相談が来ない！

【福島県避難者交流会】

・支援機構とさわやか福祉財団の連携で
原発賠償・除染等を相談

八王子学園都市センターの交流会

→サロン風立食形式で相談が増加！
(富岡町復興ビジョン策定を説明)



* 災害復興まちづくり支援機構: 東京都と災害復興支援協定を結ぶ18士業(技術士会、弁護士会、司法書士会、税理士会、中小企業診断協会、日本建築家協会、土地家屋調査士会、不動産鑑定士協会、公認会計士会 等)

中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災訓練1

- 被災者受け入れ訓練参加(2014年12月13日 鶴舞公園)

社団法人 インフラ管理研究所主催による訓練に協賛者である名工大 野口委員の提案により、技術士会からも参加(野口、吉田両名)。参加者は名工大、地元自治会、市当局などから約30名。発災時における広域避難場所の課題やあるべき姿を訓練後検討。技術士会として被災者支援をする場合への参考にする。

中部本部の防災活動 カテゴリー4<共助/予防> 防災訓練2

災害時宿泊訓練支援

日時:2017年3月18日(土)16時~20時

場所:知立市立知立南小学校体育館

主催:ナスモル知立

共催:知立市少年少女発明クラブ

後援:知立市、知立市教育委員会、知立市商工会

技術士会参加:打田憲生委員(ミネルヴァ技術事務所)が支援

イベント内容:炊き出し訓練、防災体験

準備:定員家族32組、毛布・寝袋・テントなど各家族で用意

中部本部の防災活動 カテゴリー5〈共助・公助/治療〉 防災支援員の募集 その1

中部地域で大規模な自然災害発生時に被災者支援活動ができるよう2015年2月から防災支援員を募集しており、愛知県9名、岐阜県3名、静岡県20名、三重県11名が応募登録されている。

平成29年5月17日、中部本部の同報メールにて再度会員に募集要項を伝え、応募を呼び掛けた。

日本技術士会中部本部各県防災支援員登録票

氏名		部門	
生年月日		支援可能な事項	
電話	固定		(対応可能な得意分野、例えば“行政との窓口”“土砂災害に詳しい”“建造物復旧に詳しい”などがあれば記述。特になくても良い) ① ② ③
	携帯		
E-mail			
住所			
その他意見等	(対応可能な日、例えば“休日のみ対応可”、“平日も対応可”なども記す)		

防災支援者とは

災害発生時に、技術士会として災害対応支援を行う際の要員のこと

中部本部の防災活動 カテゴリー5＜共助・公助/治療＞ 防災支援員の募集 その2

防災支援員研修 その1

1. テキスト:「防災支援員現地活動支援ガイドブック」
「技術士会の防災活動 2013年～2016年」
2. 対象:防災支援員、県支部役員、その他有志
3. 実施日:
 - 2016年1月16日:静岡県西部地区
 - 2016年1月23日:三重県、静岡県東部地区
 - 2016年3月5日:愛知県、岐阜県、静岡県中部地区

中部本部の防災活動 カテゴリー5＜共助・公助/治療＞ 防災委員会委員の募集

愛知県支部防災委員会委員の募集(2017年5月19日)

1. 応募資格 中部本部4県所属の正会員および準会員
2. 応募締切 平成29年5月31日(二次締切 6月30日)
3. 主たる業務
 - ・防災・減災支援対応:国交省中部地方整備局、愛知県、中部本部との連携
 - ・防災教室・防災セミナーの開催:主催またはNPO法人など他団体活動への支援
 - ・防災専門家養成:防災支援員の研修、あるいは市町などの要請があれば支援
 - ・地域活動への積極的参加:自治体との支援協定の締結
 - ・防災・減災・BCPに関する諸問題の研究および自己研鑽、並びに外部への発信

中部本部の防災活動 カテゴリー-5〈共助・公助/治療〉 静岡県災害対策士業連絡会への参加

- 静岡県災害対策士業連絡会への参加申し込み
発災時に技術士会の防災支援員が被災者支援活動を行うに際しては、原則として地元自治体の了解・要請が必要であり、広島土砂災害被災者支援活動の例でわかるようにそのためには他の士業との連携が実務的に有効である。
- 静岡県支部は2015年8月21日静岡県災害対策士業連絡会への加入を申し込んだ。2016年8月26日加入が認められ、9月から会員となった。
- 2017年2月6日士業連絡会研修会があり、山下支部長出席。

中部本部の防災活動 カテゴリ-5 <共助・公助/治療>

統括本部防災支援委員会主催による

「被災者支援に対する基本法令研修」WEB中継の主宰

(中部本部WEB中継参加者)

- 第一回:2016年08月10日 災害対策基本法(8名)
- 第二回:2016年10月13日 災害救助法(7名)
- 第三回:2016年11月10日 被災者生活再建支援法(7名)
- 第四回:2016年12月08日 大規模災害からの復興に関する法律(3名)
- 第五回:2017年01月12日 弁護士の中から見た災害法務の成果
と課題(5名)
- 第六回:2017年02月09日 原子力防災関連法と防災訓練

中部本部の防災活動 カテゴリー-5 <共助・公助/治療> 防災支援員研修 その2

静岡県支部における 「被災者支援に対する基本法令研修」

(統括本部防災支援委員会主催によるWEB中継研修内容)

日時: 2017年1月07日 静岡県東部地区

2017年1月21日 静岡県中部地区

(統括本部防災専任委員 山口豊殿講演

「大震災に備える専門士業の役割と課題」も実施)

2017年2月18日 静岡県西部地区

内容: 統括本部基本法令研修のポイント説明

対象: 県支部会員、防災支援員

講師: 吉田建彦

岐阜県支部における 防災・減災関連の講演会

日時: 岐阜県支部1月講演会 平成29年1月7日

内容: 「防災教室の企画提案について」

対象: 防災支援員登録者他

講師: 森川支部長、高木智委員

中部本部の防災活動 カテゴリ-5<共助・公助/治療> 公的防災活動専門家の育成・資格取得

静岡県	:2015年静岡県ふじの国	防災士	7名
三重県	:2016年日本防災士機構	防災士	1名
岐阜県	:2016年日本防災士機構	防災士	2名

(情報を集め切れなかったため修正の可能性あり)

中部本部の防災活動 カテゴリー-5〈共助・公助/治療〉 個別地域活動

静岡県支部 山之上委員による

「マンション防災マニュアル」作成と研修

1. 目的:同委員が住むマンションの防災活動のため作成
2. マニュアル内容:
 - ・防災のための組織と役割
 - ・居住者情報
 - ・発災時(大地震時)の対応フロー
 - ・家庭の備蓄品リスト(参考)
 - ・管理組合の備蓄品リスト
 - ・地域との関係
3. 研修:5月下旬、居住者対象に実施

中部本部の防災活動

ホームページの作成

- 2015年6月設定

中部本部社会貢献(防災)委員会

社会貢献(防災)
委員会の所掌

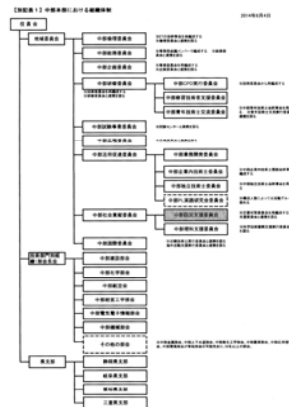
社会貢献(防災)
委員会議事録

防災教室

防災セミナー

防災カード

自治体との災害協定



日本技術士会中部本部社会貢献(防災)委員会は
統括本部防災支援委員会および中部本部傘下の
4県支部と連携して、今後も地域に根ざした防災・減
災活動に注力していきます。